

【表-1】 Beethoven Symphony No 9, 4th mov. 冒頭 Recitativo の Beethoven 本人作の歌詞(主張)

注) ベートーフンの書き残した冒頭のレシタティーヴォ(以後 Rec.と記す)用の歌詞(下記原文・独語)には不鮮明な箇所が多い。しかもその歌詞を載せた文献は2種あり(ノットボーム版とダイタース版、それらの間には多少の差異がある故、箇所によっては文献2種を併記し、あるいは括弧で加えた。以後の歌詞(主張)は、すべて4楽章作曲前に、彼が試行錯誤していた際スケッチ帳に書き込んだ、冒頭のチェロ・バス用のものである。しかし最終的にこの交響曲に歌を加える大英断を下した際、それらの主張の中心は、後にバリトン(Br.)の Rec.により直接言葉で主張させることにし、その Br.の Rec.の主張が成就した時に、“シラーの詩”の世界に足を踏み入れることが出来るとした。その際、冒頭のチェロとバスの Rec.の旋律にも大幅にメスを入れたため、下記の譜面は、当初の旋律とそこに付けられた歌詞(主張)を参考にし、修正された旋律に当初の歌詞(主張)を当てはめたものである。当初からの歌詞(主張)には変更がない故、これらを知らずして、強烈に速いテンポ指示の意味や、その後の Rec.の重要な意図を理解することは不可能

怒りと絶望による猛烈に速い緊迫のレシタティーヴォ!

日本語意訳は内藤彰による

Presto $\text{♩} = 66$
9 小節 arco

ダメだー! この音は我れ我れに- ぜつぼうをおもい 一出させる
Nein diese (Töne) (würde uns) erinnern an unsre Verzweiflung (voll) stand.

● “この音”; 冒頭(8小節間)の、(絶望の)ファンファーレのこと(後にバリトンの Rec.により diese Töne と歌われる)

① ベートーフンは「第九」の作曲当時、フランス革命で失脚したはずの特権階級層の復権、そしてそれに伴う自由の剥奪や近隣諸国で頻発する数々の戦争等、彼が絶望的と感じた当時の政治の流れを、4楽章冒頭の、敢えて憎々しく汚い音で書かれた(ベートーファン談)ファンファーレの音に例え、憎々しく“この(絶望的)音”と称し、次(9小節~)からのチェロ・バスの Rec.に“絶望”の言葉まで用い(上記楽譜)、怒りを持って極めて速いテンポで演奏させることにより上記 Fan.(絶望的政治の流れ)を強烈に破壊、拒絶した! (ベートーファン自身が $\text{♩} = 66$ という極めて速いテンポを楽譜に指定し、そのテンポを絶対を守るようにとの注意書きを、総譜出版の際仏語で書き加えた)

その“この音”は、後にバリトンの Rec.が初めて登場する“O Freunde nicht diese Töne ; で、具体的に言葉として表記されている。直前の4楽章冒頭と同じ(絶望の)ファンファーレの再現(209小節~後、チェロ・バスとはほぼ同じ形の Br.の Rec.に、今度は初めて上記歌詞を与え、“お~友よ! **みんな(絶望的政治の横行する)音(世の中)は(まっぴらだ)**”と、チェロ・バスと同じく、絶望的政治の流れを、直接ドイツ語により厳しく拒絶している。

彼は、このバリトン独唱で命令調に歌われる厳しいメッセージに強烈な印象を与えるためか、当初、年月をかけて周到に用意してきた4楽章冒頭部のチェロ・バスに付けられていた上記歌詞(主張)は、後の主部で歌われるバリトンの Rec.に任せる形で、最終的にすべて削除し、**オーケストラ演奏だけでその主張を物語る**、当時流行していた**器楽レシタティーヴォ形式により、主張を展開することにした**。

当然バリトンの Rec.も、**絶望的政治の流れを強烈に拒絶するため、極めて速く厳しいテンポ $\text{♩} = 66$ のままの Rec.で歌うよう意図されている**。今まで、この事実を見逃していた(知らなかった)多くの独唱者によって、このバリトンの Rec.は、本来の**絶望(拒絶)!**とは全く無縁のゆったりとしたテンポで、美声をひけらかすように朗々と歌われ、ベートーフンの意図を破壊してきた(本人も知らないまま)。

② せっかくのフランス革命勝利(1799年)も、その後の上記古い特権階級の復権や、自由の剥奪、相変わらずの数多い戦争等、当時彼を苛立たせていた多くの政治的事象 ⇒ **この音(絶望を思い起こさせる汚い音) ⇒ 強烈な速さと叫びによりそれらを完全粉碎!** ⇒ 少しでもテンポが遅くなれば、この叫びの効力は減ずる(逆にこの叫びの効力が強ければ強いほど、それを強烈に拒絶することにより到達し得る**歓喜は爆発的となる!** ⇒ **故に絶対に遅くするな** (彼はこのように奏者に命じ、総譜にも敢えて注意書きした)!!

次に全く同じ2回目のファンファーレ(Fan.)で **絶望の世** を表現し、それを拒絶した後、
“**今日は祝祭日(革命日)だ。歌い踊り自由への解放を祝おう!**”

Presto $\text{♩} = 66$
24 小節

f (拒絶!) 友(も)よ 今日 は 祝(く) 祭(い)日 歌(た)い 踊り いわー おう
Heute ist ein feierlicher Tag. Meine Freunde dieser sei gefeiert durch Gesang und Tanz

歌詞の背後にあるベートーファン、シラーに共通する政治思想との関係; 当時の**革命**は、いきなり流血騒ぎが起こった訳ではなく、自由を願う(祝う)**祝祭**として始まり、その流れの中で**自由**(特権階級支配からの等)に向けて**歌い発展**していった。よく知られたメロディを基に、毎日のように自由に寄せる歌が生まれ、それは民衆の共有財産となり・・・ 注) Dieter Hildebrandt 著 “Die Neunte” より

★続く3番目の Rec.～6番目の Rec.までは、Rec.の形は見た目ほぼ同じだが、最初の2つの Rec.とは役割が**全く異なる**。これについては、本編の6頁～8頁に詳しく説明してある故、先にそこを読まれることをお勧めする。以降は**彼の目的**(シラーの詩をいずれかの楽章に導入することを最終目的とし、どの楽章なら挿入が可能かを、各楽章ごとに付けられた Rec.の言葉を使って試して説明していく)を理解して下さいたものとして、以下に、3番目の Rec. (1楽章がテマ)から話を進める。

1 楽章冒頭部を8小節演奏

後

Tempo **Presto** $\text{♩} = 66$

ちがう - ! これじゃ な - いわたしがほしい - のは なに - かべつ - の ころよいも の な の だ -
 O nein! dieses nicht, etwas anderes (gefälliges) ist es, (was) ich fordere ●**快いもの**; 平和で平等に繋がる祝祭の歌や踊り?

1 楽章冒頭部が始まると、違う！その音楽ではシラーの詩の言わんとする内容を表現しにくい！、
 もっと喜びに繋がる**快い音楽**で(祝祭に相応しい歌と踊り?等) “シラーの詩”を迎えよう！

●音乐的には素晴らしい楽章だが、“シラーの詩”はこの楽章(scherzo)が表現しているような、

2 楽章冒頭部 8小節演奏後

軽々しい浮かれた音楽の中ではない。もっと明るく美しいより良い音楽の中で迎えよう!

Tempo I (**Presto**) $\text{♩} = 66$

(これも)ダメだ た わむ れ - だ も - っ と 明か るく よ りう つ く しき 良 い 音 楽 で
 Auch dieses nicht, (das ist) nur Possen, (sondern nur) etwas heiter, etwas schönens und bessers

死の半年前(1826年9月末)、この曲をウィルヘルム三世へ献呈するため新たに写譜された総譜に、ベートーヴェン自身が最後の修正を施した。その際、Tempo I (Presto)を消し Allegro、すなわちやや遅めのテンポに直した。
美しい音楽は素晴らしいが、できたらもう少し(世の中を改革する活気ある音楽の方が、“歓喜に寄す”にはマッチする！私が(“シラーの詩”)歌って示すから、それに続いて(皆も)唱和せよ!

3 楽章冒頭部 2小節演奏後

Tempo I **Allegro**

あ - 優 さ し す ぎ る も っ と 活 気 あ る う た も と め ん 我 れ 示 さ ん 唱 - 和 - せ よ !

Auch dieses (nicht), es ist zu zärt(lich), etwas (aufgewecktes?) muss man suchen. Ich werde sehn dass ich selbst euch etwas vorsinge als-dann stimmt nur nach.

4 楽章冒頭 4小節演奏後

Allegro assai ($\text{♩} = 80$) Tempo I (**Allegro**)

あ ! 此 然 り や っ と 見 つ - け た . よ - る こ - び - を - (わ た し が み - ず - から
 Ha! Dieses ist es Es ist nun ge-funden. Freu-de (“シラーの詩”) (Ich selbst

う たい し め - さ ん)
 werde vor - - singen)